

委員会評価報告書

事業名	外国語指導助手事業	
議会評価	1	拡充
<p>【評価説明】</p> <p>外国語指導助手事業は、英語教育の充実に欠かせない英語によるコミュニケーション能力の向上のため、ネイティブな英語に触れる機会が必要であることから、JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）によりALT（外国語指導助手）の派遣を依頼し、市内の小中学校において英語の授業の支援をするものである。</p> <p>現在、本市には4名のALTが配置されており、英語に対する興味・関心を持ち、意欲的・自主的に学びに向かう児童・生徒の育成を図っている。</p> <p>国が考える教育の中でも、様々な面で進むグローバル化に対応できる児童・生徒の育成の必要性や小・中・高の連携についてうたわれており、コミュニケーションを発揮する一つの言語として英語をどう使えるかが重要視され、自分の生活の場面につなげられる英語学習に変えていこうという流れになっている。</p> <p>このようなことから、厚生文教常任委員会としては、グローバル社会において英語によるコミュニケーションは絶対に必要であり、児童・生徒にとって将来の選択肢が広がること、また、学習指導要領の改訂や本市が来年度から予定している小学校での英語教育の実施、さらには、既に8割以上の児童・生徒がALTの支援による英語の授業を好意的に捉えている実態を踏まえ、特色ある教育を進める上でも、事業としては当然継続しつつ、より一層の充実と拡充を望むものである。</p> <p>今後の課題等については、学習指導要領の改訂や小学校での新たな取組が始まることにより本事業の持つ役割が広がると予想され、これまで以上の指導が求められることから、担当教員の負担増は確実であり、ALTの質の向上やチェック機能、また支援をするためにも、教育委員会が組織としてALTに関わる体制が必要である。加えて、懸念される人材の確保についても勘考されたい。</p> <p>担当課もALTの活用については検討の余地があると認識しており、財政部門との調整は厳しいと思われるが、他市の状況を確認し、JETプログラムの契約の中で最大限に力を果たせるよう努力していただきたい。</p>		